

Interview of Fukai&Mikami



「何もできなかった」表彰式でも深井に笑顔はみられなかった



東アジア大会日本チームの金メダルに貢献した深井正樹(3年)、三上卓哉(4年)両選手に試合後話を聞いた。

Q 優勝おめでとうございます。今の気持ちはどうですか？

深井(以下F) 僕は何もしてないんで…でもチームとしては北京大会につながるからよかったと思う。

三上(以下M) 最高です。

Q 深井さんはスタメンではなかったですが、実力じゃありませんか？監督の考えで勝つことを考えてスタメンを選んだと思う。悔しさはあるけど自分の調子自体よくないんで…

Q 三上さんはスタメンでしたが

M 大きいスタジアムでやれたし、応援してくれる人も多かった(一万六千人)ので気合はいりました。

Q 監督からの指示は？

F 出るのは前半30分過ぎ、遅くて後半開始からといわれてた。相手が3バックだったので両サイドのスペースを突いていけと。勝負を決めるために出たけど不甲斐なかった。

M 特別なことはないです。

Q 失点のシーンを振り返ってください。

M 自分のマークしてるやつがヘディングで落として決められたんで、もう少ししっかりマークしとけばよかった。でも日本の守備に関しては予選でやった時(O-1で敗戦より相手のことをビデオとかで研究してたんで、全然良くなったと思います。

残ったのは課題ばかり(深井)

Q 大学選抜でやる時と、駒澤大学でやる時で気持ちの変化は？

F Aもまじでまよいですナジ、ヨトリもまじで

を感じます。駒澤大学でやってるときも駒澤大学の代表なんですけどね

M 僕は変わんないです。

Q ではこの大会での収穫は？

F こんな言い方良くないけど自分自身あまり良くない大会になってしまった。

特に仕事もできず、課題ばかり浮き彫りになったと思う。

Q 課題とは？

F 全てです。

M 多いね F 多いね

Q できれば(三上)

M では三上さん、収穫は？

M こういう経験はなかなかないんで、経験値が上がったこと。

F ロールプレイングゲームじゃないんだから。(笑)

Q 大学選抜に行くとき、秋田監督から何か言われますか？

M 変な癖をつけてくるなと

F 僕は頑張ってくれくらいしか言われないうつすよ。

M いいな、お前は。

Q 大学選抜にチームメイトがいるってことで、安心するとかありますか？

F いや、あんま喋んないですよ。

M そうだね、あんま仲良くないんで。

F それはないから(笑)

M ハハハハ。でも僕は今回だったら大阪で集合なんですけど、そういうときに東京で待ち合わせとかないと心配だし(笑)ある意味、深井は俺のお兄さん。

F ハハハハ。でもそういうのは心強いですよね。

Q 深井さん、今日は背番号11でしたが。

M 来年だろ？(10番は)

F まー10番のほうがいいんですけど、山根さん(国士館大学)には勝てないかな(笑)みたいなのでも背番号でプレーしてるわけじゃないからプレーで認めてもらいたいです。

Q 三上さんは4年ですけど、今後は？

M できれば(三上)でやりたいですナジ。



インタビューからは三上の精神的充実が感じられた



話とかしますか？

M いや、別にしないです(笑)。

Q では最後に駒大と大学選抜での抱負をどうですか？

F そうです。駒澤大学の深井という人間があって、こういう経験ができてと思うので、まず駒澤大学で頑張った結果を残して、また北京大会の代表に選ばれていい経験をしたいです。

M 駒澤のほうでは、4年でこういうチームでやってるから、リーダーシップとってやりたいし、あとやっぱり最後だからタイトルが欲しい。ユニバのほうでは、まず選ばれるように、怪我をせず自己管理をしっかりして、自分がレベルアップできるようにしたい。

日本の金メダルに貢献した2人の様子は対照的であった。三上からは大学最終学年を迎え、精神面での充実が感じられたが、深井は何か深く思い悩んでいるようであった。大学選抜のエースとして期待されながら、今大会は無得点に終わり、フル出場も1試合にとどまった。

私は最近、深井が自分のプレーに対して「仕事」という言葉をよく使うことが気になっている。「仕事」と「遊び」の違いは責任の大きさにある。「遊び」感覚でサッカーをして欲しいとは思わないうい、もう少し楽しんでサッカーをしてほしいのではないかと。そう、九七年のW杯予選で「遊び」のプレーで見事復活を果たした名波のように…(熊崎雅之)

特別インタビュー 後藤健生氏 (サッカージャーナリスト)



「大学選抜？レベルは高いね」

オーストラリアにグループリーグで負けてから、弱点を研究し、きっちりとしたゲームプランを監督が作って、それを選手がしっかりと実行できるという点で、いいチームという印象を受けた。レベルは高いね。でもこういう試合をしているのに報道陣があまり来てなくて注目されてないのは悲しいね。関東リーグも一時期に比べればレベルは上がってるけど。問題は、今ほどのチームも差がない。今日の日本のような試合を上回るチームがやれば、他チームと差をつけられると思うけど…まだまだ子供だね。あと今は関東以外でも全国に強いチームがあるから、そういうチーム同士が戦える場をもっと増やしたいね。深井は印象に残るプレーをする。あそこで核になれると大きいね。三上は守備的な展開で、持ち味を出しにくかったのでは。

ユニバ代表に 参加した駒大OB

- 秋田浩(駒大監督)…辞退
- 1987 ザグレブ大会…山本健二 チームメイト…中山雅史(磐田) 成績…16チーム中8位
- 1993 パッファロー大会…林健太郎 栗原圭介 チームメイト…藤田俊哉(磐田) 成績…16チーム中5位
- 1995 福岡大会…山田卓也、栗原圭介 チームメイト…望月重良(神戸) 成績…優勝(2-0 韓国)
- 1997 シンリー大会…米山篤志 盛田剛平 成績…16チーム中9位

発行人 熊崎雅之
スタッフ 木ノ内隆 佐野晋作 岩田陽一 内田浩嗣 丹羽尊志 森田悠介 西村智子 山口諒子

第1号は 6月22日(金) 発行予定です!